

# 【岐阜県版】安全就業ニュース



令和5年度2月号

## 【今月報告の事故】

### ○団体傷害保険関係事故

#### ・死亡事故及び入院6ヶ月以上の重篤事故

該当事故の報告はありませんでした。

#### ・1ヶ月以上の入院事故

該当事故の報告はありませんでした。

### ○労働災害

#### ・休業日数4日以上を負傷事故

地域	事故発生日	時間	内容
中濃地域	2024/01/16	15:30	76歳男性。工作機械を3tトラックに積み込みし、荷締めベルトで固定しようとしてベルトの一端をトラックのフックに掛けようとしていた。積載した機械についているハンドルに手をかけて身体を支えながら作業と行っていたところ、ハンドルが機械本体から外れたため、バランスを崩し前のめりに荷台から落ちそうになり、咄嗟に飛び降りた。地面に飛び降りた際に左足の踵を複雑骨折した。
飛騨地域	2024/01/16	07:20	79歳女性。積雪が20cmを超える道路(車通りは少なく一車線の道)を徒歩にて通勤中、雪の下が凍っていたためゆっくり歩いていたが、滑って転倒して身体の左側を強く打撲した。

### ○派遣事業に係る損害賠償責任事故

該当事故の報告はありませんでした。

## 【お知らせ】

### ○令和5年度安全就業対策研修会を開催しました。

令和6年1月30日(火)にワークプラザ岐阜5階大ホールにて標記研修会を開催しました。前半は、株式会社那加クレーンセンターの横関和人氏から「草刈りまたは剪定作業時における労働災害の防止」と題した講義を頂き、後半は参加者を6グループに分けてグループワークを行い、その内容の発表を行いました。

講義では、事故の原因には管理者やリーダーから作業を急かさず声によるものや、安全のために使用する道具を用いる理由や意図が分かっていないことが挙げられ、事故を防止するためには、作業員・管理者双方が知識を高め、ヒヤリハットの共有ができる体制を作り、リスクアセスメントを勧めて作業手順を作ることが重要だという話をされました。



グループワークでは、センターの事故や対策の現状について共有され、講義を受けてどのような対策が好ましいかが話し合われました。発表では、使用する道具について適切に管理することや、正しい使用方法についての知識をつけることなど作業員に関する話のほか、何故3メートルまで上がってはいけないのか、何故保護メガネや墜落制止用器具などの道具を着用しなければならないのかという理由をセンターの担当者が理解し、作業員に納得させる必要があるという管理者に関する話もあがりました。

今後も安全・衛生に関する研修等を随時開催しますので、安全就業の啓発にご活用いただきますようお願いいたします。

### ○令和5年度健康相談会、産業医による作業場等の巡視を行いました

令和6年2月20日(火)に瑞浪市市民福祉センター(ハートピア)にて産業医による健康相談会を行い、その後瑞浪市SC管轄の事業所に赴き産業医による作業場等の巡視を行いました。健康相談会では、3名の派遣会員が健康指導や安全就業について産業医と面談を行いました。来年度以降、全ての地域の派遣会員を対象に健康相談会を開催できるように開催方法を検討しています。怪我のない健康な生活を送るために、来年度以降も気軽にご利用を検討下さい。

- ・30日以上入院事故、または重篤事故(180日以上入院事故または死亡事故)が発生した場合は、まずは電話等で連合会へ報告をお願いいたします。
- ・労働災害が発生した場合は、早急に連合会へ電話をお願いいたします。

#### ——— 今月の短歌 ———

泡沫が 弾かれ如き日 わびしけれ  
担い為す儀こそ 忘れ難し

